

安心とするおのの下町川の手をめぐりて

防災 まちづくり 版

発行ノ寺言問を防災のまちにする会

1991. 7. 1.



完成した百花園通り「寺島のみち」

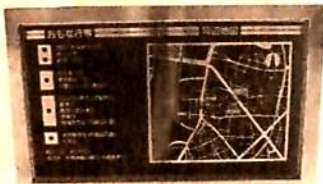
「まちづくり」に「百花園通り」

デザイン

カードレールはホラード(車止め)に変わり、歩道は玉砂利をイメージした舗装になりました。カーブミラーや消火器ボックスも通りに合わせたデザインになっています。区内初の試みとしてホラードに足を照らす明かりがついて、美しい夜景をつくっています。



パンチぞらと一息



四季の行事が盛り込まれた案内板

まちづくりの成果がまたふたつ増えました。東向島三丁目にできた百花園通り「寺島のみち」と会古路地(えころじ)です。いずれも一言会と地元住民の方々が墨田区と具体的なデザインに至るまで検討を重ねた産物です。そうした努力の甲斐もあってか、「いいものができた」「うちの方にもつくってほしい」となかなかの評判です。

五月二十五日(土)晴れ渡る青空の下で行なわれたオーブニング・セレモニーには奥山区長をむかえて、百名余りが参加し、歩き初め、テープカット、鏡割りで完成を祝いました。その後、子供たちが持ち寄った空缶をつぶして空缶箱に入れて、会古路地の使い方を体験しました。

新しい自慢のタネが2つ完成!

玉砂利を敷いたような粋な「寺島のみち」 エコロジーをもじった広場「会古路地」



風通しも良くなった
会古路地の近所
大貫和徳さん

会古路地ができて、行止り道も抜けられることになった。ご近所、喜んでるんじゃないの。明るくなったし、風通しも良くなった。4m道路になれば、消防自動車も入るしね、うちも懇切りに協力しました。



道に合わせて化粧直し
百花園通り沿い
加藤恵子さん



土壌色に吹き付けた塀に、白鼠と息吹きが模様になって、寺島のみちとよく似合います。



夕が開い
張、奥

私がまちづくりスタッフです

その23

東向島三丁目
北条 嘉雄さん
(一言会・理事)



生まれは墨田4丁目。隈田川の水で産湯につかちやきちやきの墨田っ子。防災団地建設のため、蓮華寺の隣に引越して来る。

二代目北条工務店社長。下町、子は目立ちたがり屋が多いが、北条さんはいつも沈着に行動し、町を土台から支えている。当年50才奮発ざかり。

寺中地区青少年育成委員会副委員長。町会の青少年部長、消防隊員、西園子世話人と何役もこなす。町にとって不可欠の一人だ。

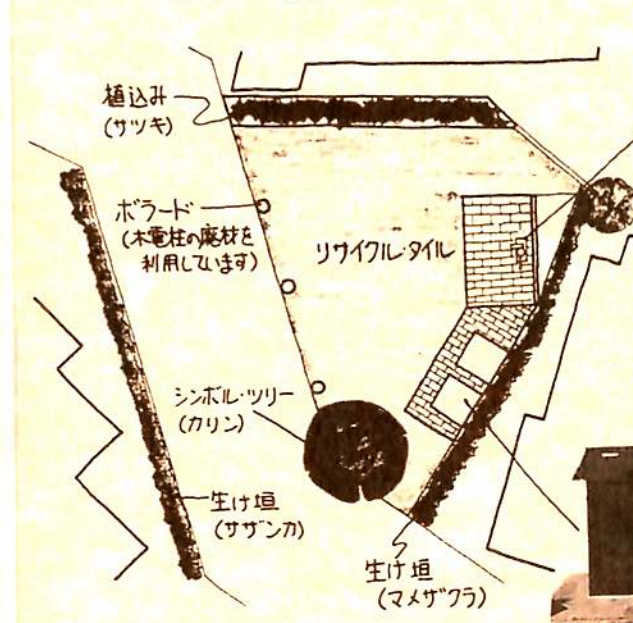
一言会では、百花園通り「寺島のみち」会古路地の担当理事として活躍された。

「官元町会は子供会も含めて、伝統的に廃品回収に熱心です。会古路地がリサイクル広場になったのも、そういう基礎があったからです。お祭の時、子供神輿と太鼓が会古路地の道を通り抜けたんだ。毎年ウターンしてたからね。これは快挙でした。墨田川高枝も緑化に協力してくれましたし、寺島のみちを蓮華寺の方まで延長してもらいたいね。」(純)

一言会 / 防災まちづくり 瓦版
第25号 平成3年7月1日発行
編集 / 一言会を防災のまちにする会・編集局
高原純子・若木菊枝・木田佳男・木田文代
編集協力 / マヌ都市建築研究所
発行 / 一言会を防災のまちにする会・事務局
墨田区吾妻橋1-23-20 TEL(5608)1111



リサイクルをテーマにした広場・会古路地が、巷のリサイクルブームと重なってテレビや新聞に注目されています。寺島の道は「心なごみ政策が楽しめる」と評され、「一言会」の自慢のタネが増えました。



話題 マスコミも注目



黒屏風を背にした路地第4号。タンクはこれまで最大の10トン。中村さん宅の屋根から雨水もいただいています。



左が落葉、右がアルミ出入れ。かつて路地によく見られたゴミ箱のデザイン

百花園、拡張に向けて動き出す

「百花園の周辺に高層マンションが建設されると、園内からの景観に悪影響が出る」という近隣住民等の要望に答えて、高層マンション計画を取り止めて駐車場にした土地が百花園のすぐ隣りにあります。この土地の所有者と東京都の間で、このほど売買契約が成立しました。東京都では今後、近隣住民との話し合いの上、百花園拡張の整備方針を固めるそうです。美しくなった百花園通り「寺島のみち」にとってもううれしいニュースですね。



空気がぶかしたに精出す子供たち



オーブニング・セシモニーは、百花園通り「寺島のみち」の歩き初めから始まった。



司会者の合図と同時にカッコンと棒のた鏡割り——左から守屋・東向島宮元・山墨田区長、別武・一言会会長。

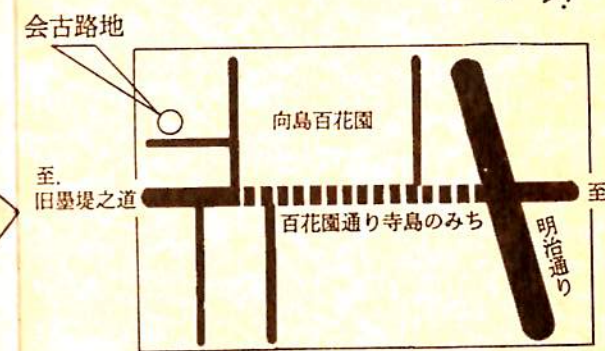
由来

会える広場にしたい」との考えから、かつての井戸端をイメージし、リサイクルをテーマとした経緯が、この名称に込められています。

会古路地とは、エコロジー(生態学)の響きを漢字に置き換えたもの。「古いものに出



テープカットをして、会古路地への第一歩!



我が家の雨水も再利用されて本望!?
会古路地のお隣
中村 叔子さん

植木や生垣の水やりに、会古路地の囲りのそうじと、ご近所はまめに手入れして下さいますよ。新聞に大きく報道されたのを見たご夫婦がやってきて、ポンプに触ったり、水を出したり、二人並んで記念写真を撮っていただきました。乳母車を押した、自転車に子供を乗せたお母さんが、アルミ缶を箱に入れていきます。小さな交流の場所になったみたいですね。雨水もリサイクルされて本望じゃないですかね。



完成した広場・会古路地(えころじ)

一言会 建築学会文化賞を受賞!!

「助け合い精神」に根ざした精力的で独創的な活動が評価される

突然の朗報でした。一言会が日本建築学会の文化賞を受賞するとは、誰も考えてもみないことでした。

この賞は、日本建築学会が昭和61年に結成百周年を迎えたのを記念して制定されたもので、建築文化の向上などに功績

があった人を対象にしています。これまで彫刻家のイサム・ノグチ氏や、デザイン博などを通じて景観を重視した都市計画を進めた西尾武喜名古屋市長らが受賞しました。住民団体の受賞は一言会が初めてです。



会長・副会長が区長に受賞の報告をしました。賞状と記念品を前に、区長の目もうれしそうでした。



全受賞者の方々。もちろん副会長も顔も見えます。



一言会の受賞理由は、①路地尊をはじめ、地域の伝統文化を尊重しつつ、斬新な発想で独創的なまちづくり活動 ②旧墨堤之道や向島有季園など住民と行政と専門家のパートナーシップに基づいた活動 ③瓦版の発行をはじめとした地域交流、防災意識高揚のための活動。5月30日(木)、日本建築会館でおこなわれた授賞式には、一言会から9名が出席し、会を代表して副武会長が賞状を受け取りました。



副武会長

「住民が力を合わせて取り組んできたことが認められたのだと思う。これからも知恵を出し合って、まちづくりを進めたい。」(談)



用地の利用策 検討開始

夏のまちづくり活動方針まとまる

一言会は、4月24日に引き続き、5月27日に開いた理事会で今年度のまちづくりの取り組み方について話し合い、その基本的な方向をまとめました。今年度取り組み主な事業は、①東向島一丁目25番まちづくり用地の整備計画の立案 ②高田製薬跡地の利用方法の検討 ③地蔵坂通りの整備計画の検討 ④三とも通りの整備計画の検討 ⑤路地尊第一号の改良計画の検討 ⑥来年度以降の活動に関する検討。それぞれの事業はこれまでと同様に担当町会(わいわい会を含む)を中心に検討するが、①④の事業は関連性が強いことから、合同で検討していくことになりました。なお、東向島一丁目25番のまちづくり用地は今年度中に整備するため、先行して検討を始めることになりました。

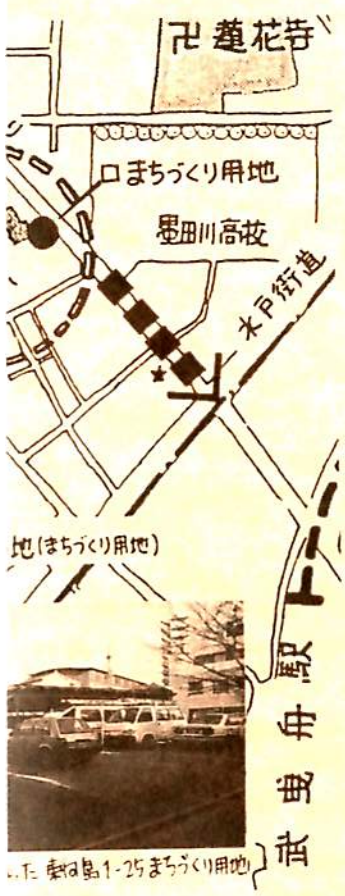
○平成3年度に取り組む主なまちづくり事業一覧 ()内は担当町会(わいわい会を含む)

- ① 東向島一丁目25番まちづくり用地の整備計画立案 (東向一南町会とわいわい会)
 - ② 高田製薬跡地の利用方法の検討 (一寺言問の全町会とわいわい会)
 - ③ 地蔵坂通りの整備計画の検討 (東向島一丁目中町会と東向一南町会と東向島宮元町会)
 - ④ 三とも通りの整備計画の検討 (向島五丁目西町会と向島五丁目東町会)
 - ⑤ 路地尊第一号の改良計画の検討 (東向島宮元町会とわいわい会)
 - ⑥ 来年度以降の活動に関する検討 (一寺言問の全町会とわいわい会)
- その他、向島有季園の管理運営
防災まちづくり瓦版の発行(3回)
他のまちづくり団体との交流

○「一寺言問の道」づくりなど総合的な視点で

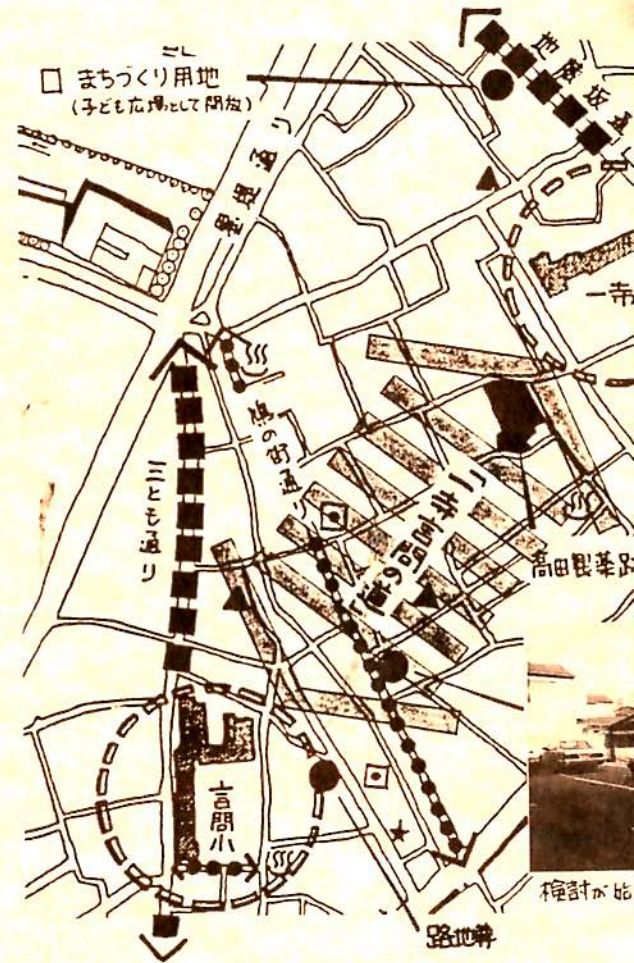
現在一寺言問地区には、利用方策の検討が課題になっていく区のみならず、利用方策が、東向島一丁目二とも広場(暫定利用)を含め、全部で四ヶ所あります(図参照)。これらは一寺言問の防災まちづくり計画を具体化していく上で重要な位置にあります。

まず高田製薬跡地と東向島一の25番まちづくり用地は、防災活動拠点の一寺小と言問小を結ぶゾーンの中にありますから、防災活動道路「一寺言問の道」づくりを念頭に置いた利用策が求



まちづくり

平成3年



都内まちづくり団体 フォーラム契機に

まちづくり交流 定常化

交流

三月九日(土)、世田谷区の北沢タウンホールで「まちづくりフォーラムQ1・せたがや」が開催され、一言会も参加し、最近のまちづくり活動の様子をパネル展示や討論会で発表しました。このフォーラムは、昨年一言会が中心になって開催した「防災まちづくり衆会・すみた」の続編で、一言会と同様に行政と協力してまちづくりをすすめている16の住



五月十日の会議に一言会から副武会長 須賀事務局長、徳永副会長が出席し、熱のこもった議論を展開しました。



「まちづくりフォーラムQ1・せたがや」で発表する徳永副会長

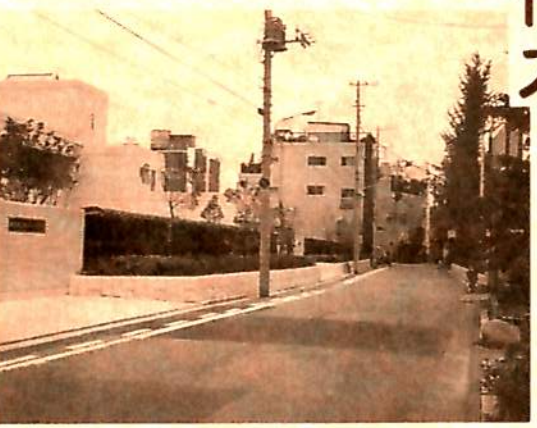
民団体が集い、参加者は三百名ほどにのほりました。一言会の活動は各方面から注目を集め、展示会場では瓦版やパンフレットを求め、人が殺到しました。五月十日(土)、実行委員会に参加した各団体の代表者が集まり、フォーラムのような集まりを今後も継続していくこと、まちづくり団体の交流活動を定常化していくことが確認されました。早速、五月二十四日に品川区のまちづくり団体が一寺宮間地区を訪れ、一言会のメンバーが案内をしました。

緑化

都立墨田川高校 まちづくりに協力

一言会では、昭和62年防災まちづくり計画を策定し、都立施設を災害時に応急利用できるように、またそれを結ぶ道は治道を緑化などして安心して歩ける道にしていこう、という要望を出しました。これを受けた区が都立墨田川高校にお願に行きました。高校はそれを快諾して下さり、校舎改築時に、①道路沿いに緑化ゾ

ーンを設け、②災害時に対応できる建物にするため、地下30mの地層まで杭を生成し、③蓮華寺との対称性を考慮した景観にするなど、いろいろと協力して下さいました。ちなみにランドの地下水槽には40トンの水が、プールには53トンの水が常時備蓄されているということです。(注)



「寺島のみち」治道を緑化した墨田川高校



歩道整備される桜橋通り

計画

桜橋通り 歩道整備開始

一寺宮間地区の南端、向島五丁目と二丁目間にある桜橋通りの歩道が美しくなります。桜橋のたもとに建設中の「桜橋デッキスクウェア」に続く形で歩道の一部広げて歩きやすくし、装いも新たに美しくするという事です。設計は既に完了しており、近く工事がスタートする予定です。

向島春季園 利用者が生け垣の剪定

緑を綺麗にしました

六月十五日(土)、向島春季園の防災菜園利用者が一同に集まり、生け垣の剪定をおこないました。また墨田区「緑と花の学習園」相談員の武田賢一さんに緑の手入れの方法についてアドバイスを受けました。剪定後におこなわれた利用者会議では「秋にはみんなで収穫祭でもやろうか」という意見が出されました。

★緑の相談は、毎週火曜、木曜
緑と花の学習園にて
墨田区文花2-12-17
TEL (3616)3823